



 筑紫女学園大学大学院
GRADUATE SCHOOL OF HUMAN SCIENCES, CHIKUSHI JOGAKUEN UNIVERSITY

〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1
【入試・広報班】TEL: 092-925-3591 FAX: 092-928-6252
HP: <https://www.chikushi-u.ac.jp>
E-mail: exam@chikushi-u.ac.jp (受験相談専用)

大学院ホームページ

入試・納付金・奨学金等に関する
情報は、HPにてご確認ください。



一歩先を学び、
一歩先の自分になる。

GRADUATE SCHOOL OF HUMAN SCIENCES, CHIKUSHI JOGAKUEN UNIVERSITY

筑紫女学園大学大学院

人間科学研究科 人間科学専攻 修士課程

人間科学コース／臨床心理学コース

【男女共修】

GUIDE
BOOK
2026

人間を深く理解し、社会で広く活躍する。

自己を理解し、他者とともに豊かに生きる。

そんな未来を描く、志の高いあなたへ。

筑紫女学園大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻は、

自律・和平・感恩という仏教、とくに浄土真宗の教えに基づいた

建学の精神を基盤に、「人間理解」と「人間支援」という観点から

幅広く人間や社会について学ぶ大学院研究科です。

人間や社会について理解を深めて、その支援方法を研究することは、

とりまなおさず自己を洞察し、有能性を高めることでもあります。

仏教の理念に基づく高度な人間理解を究めるなかで、

一つひとつの専門知が連結し、やがて大きな総合知を形成します。

その時、目指す社会の理想像や多様な自己の役割も見えてくることでしょう。

建学の精神

本学園は、仏教とくに浄土真宗の教えを
建学の精神として設立された学園です。
校訓はその精神を三項目にまとめて
表したものです。

自律

自己への目覚め

自己を深く見つめ、さまざまな
恵みに生かされていることを自
覚し、自ら考え、判断し、行動
していくことが「自律」です。

和平

他者への目覚め

自分のまわりにある他のすべての
存在を認め、互いに尊重しあう中
に生まれるおだやかな世界のこと
を「和平」といいます。

感恩

生命への目覚め

無限の生命のつながりに気づき、
自分を支える大いなる恵みに感謝
を抱き、その恩に報いたいと願い
生きることが「感恩」です。

3つのポリシー

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

人間科学コース

学部教育の基礎（またはこれに準じる能力）の上に、仏教精神を根幹とし、広い視野に立った専門的な学術の理論及び応用を学ぼうとする人で、以下の(1) (2) (3)のいずれかに該当し、(4) (5) (6)のすべてに該当する人を受け入れる。

- | | |
|------------------------|---|
| (1) 高度の専門職業人を志す人。 | (4) 論理的な文章を作成する能力を身に付けている人。 |
| (2) 知識基盤社会に寄与しようとする人。 | (5) 研究を希望する分野について、専門的な知識を持ち、探究する意欲が有る人。 |
| (3) 学術文化の進展に貢献しようとする人。 | (6) 研究計画を説明することができる人。 |

臨床心理学コース

学部教育の基礎（またはこれに準じる能力）の上に、仏教精神を根幹とし、広い視野に立った専門的な学術の理論及び応用を学ぼうとする人で、以下の(1) (2)のいずれかに該当し、(3) (4) (5)のすべてに該当する人を受け入れる。

- | | |
|--|------------------------------------|
| (1) 公認心理師の受験資格取得や
臨床心理士の受験資格取得を志す人。 | (3) 臨床心理学及び臨床心理一般の知識を身に付けている人。 |
| (2) 資格取得にとどまらず、「心理専門職業人」を目指す人。 | (4) 臨床心理学を研究するために必要な英語能力を身に付けている人。 |
| | (5) 研究計画を説明することができる人。 |

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

◆基礎教育科目

人間科学コース

基礎教育科目は、人間理解と人間支援という視点を統合した
本研究科の「人間科学」の基本理念について基礎的な理解を図
るとともに、既に身に付けている専門的素養を再認識し、自らの
学修目標や研究計画を明確に意識することをねらいとしている。

◆専門教育科目

人間科学コース

専門教育科目は、当該研究分野の各領域を構成する科目で、
自らの専門的な知識を深めるとともに、複数の学問的課題の中
心に関連性を求め、研究の視点を広げることがねらいとしている。

◆研究指導科目

人間科学コース

研究指導科目は「研究基礎」にて研究生活に必要な研究スキ
ルを身に付けること、さらに「研究指導Ⅰ」「研究指導Ⅱ」では、一
貫した研究指導教員のもと、修士論文の作成へ向けた個人指導
を行い、各自の研究計画に基づき、研究課題の明確化、論証性、
独自性を追究していくことをねらいとしている。

◆基幹教育科目

人間科学コース

基幹教育科目は、本研究科における「人間科学」の考え方につ
いて、より具体的な視点を示し、人間理解と人間支援の今日の
課題を概観することをねらいとしている。

臨床心理学コース

専門教育科目は、臨床心理学の理論を学んだり、演習や実習
教育を通じて実践力を高めたりする科目で、心理職としての専門
性を深めることをねらいとしている。

臨床心理学コース

「心理学研究法特論」にて研究生活に必要な研究スキルを身
に付けること、さらに「研究指導Ⅰ」「研究指導Ⅱ」では、一貫した研
究指導教員のもと、修士論文の作成へ向けた個人指導を行い、
各自の研究計画に基づき、研究課題の明確化、論証性、独自性
を追究していくことをねらいとしている。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

人間科学コース

- | |
|--|
| (1) 人間存在について、深く理解し自らの言葉で論ずることができる。 |
| (2) 人間が抱える問題及び人間をとりまく社会や文化の中に存在する問題に対し、多面的な支援の方策を適切に導き出すことができる。 |
| (3) 「人間科学コース」「臨床心理学コース」のそれぞれにおいて、設定した研究テーマについて適切な研究方法に基づいた探究を行い、
得られた結果や知見を論文としてまとめることができる。 |
| (4) 研究成果及び研究を通して身に付けた研究的資質を活かし、高度専門職業人として実践的活動をすることができる。 |

臨床心理学コース



人間科学コース

異文化理解やコミュニケーション、人間心理などに関する多様な視点からの教育・研究を加えることにより、高度な識見を持ち、問題を発見、解決する能力を有する人材を養成します。

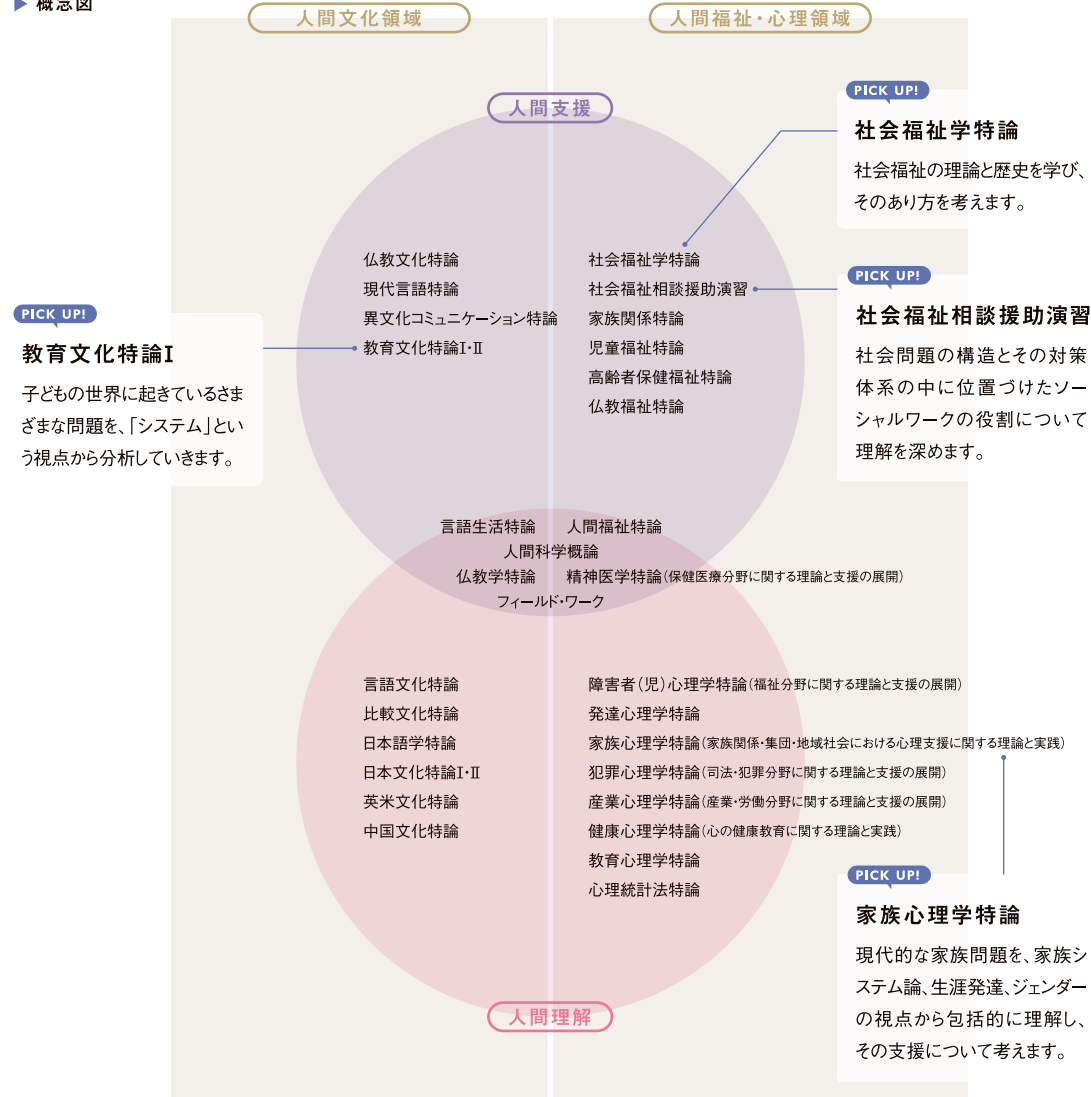
PICK UP

1

言語・文化系、教育系、福祉系、心理系の4分野からなる カリキュラムで、多面的に幅広く学べます。

人間文化領域、人間福祉・心理領域で構成される幅広いカリキュラムにより、人間存在を多面的・科学的に探求します。
「人間理解」を深めるとともに、「人間支援」へ多角的にアプローチする複合的な実践力を修得します。

▶ 概念図



PICK UP

2

自分の興味や関心に合わせてカリキュラムを 自由に選択することができます。

自己の関心に応じたカリキュラム選択を可能にすることでフレキシブルな学修を支援し、
社会にあふれる課題に対応する柔軟な思考力と主体的な行動力を育成します。

在学生 Voice



2年
土屋 彩さん
(筑紫女学国大出身)
学内進学入試(1期)

研究分野を超えて学び、 未来への可能性を広げています。

社会福祉の現場で活躍するために必要な資質、技能、倫理観・人間観を習得するため大学院へ入学しました。本学では、福祉分野だけでなく心理分野や仏教の精神にも触れ、横断的に学習を進めています。今後は高齢者福祉について研究を深め、将来は社会福祉士、精神保健福祉士として働くなかで、高齢者のニーズを適切に把握し、高齢者の尊厳に配慮した支援をしていきたいです。

履修カリキュラム	
1年次	人間科学概論 仏教学特論 人間福祉特論 家族関係特論 児童福祉特論 障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論) 研究基礎 社会福祉学特論 社会福祉相談援助演習
2年次	仏教福祉特論 高齢者保健福祉特論 発達心理学特論

【研究テーマ】認知症高齢者の意思決定支援の現状と課題



2年
劉 華英さん
(湘潭大学(中国)出身)
外国人留学生入試(1期)

自閉症支援を志し日本で学び、 母国中国で教員となり活躍したい。

自閉症の子どもたちを支援したいと思い大学院に進学しました。人間科学コースでは心理学や仏教、日中の文化など幅広く学べる点が魅力です。また、特別支援学校を訪れ直接現場を見たり、子どもたちやそのご両親、まわりの方々に話を聞くなどして理解を深めています。将来は中国に帰国し、特別支援学校の教員として働くことを目指しています。

履修カリキュラム	
2年次	人間科学概論 仏教学特論 教育文化特論I 児童福祉特論 障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論) 研究基礎 言語生活特論 仏教文化特論
3年次	中国文化特論 教育心理学特論 フィールド・ワーク 研究指導I

【研究テーマ】自閉症の教育指導内容の理解

修了生 Voice



2023年度修了
古賀 彩香さん
(筑紫女学国大出身)
一般入試(1期)

特別支援学校 教員

支援教育の現場から大学院へ — 学びと実践の循環 —

小学校で特別支援学級の担任をした経験から、さらに学びを深めるために大学院へ進学しました。子どもたち一人ひとりの良さを引き出したいと考え、在学中は、自己肯定感について研究を行いました。同時に特別支援学校教諭の免許も取得しました。周りの先生方のご指導や、学生たちとの交流を通じて、多くの学びを得ることができました。卒業後は、特別支援学校で教師として働いています。

履修カリキュラム	
1年次	人間科学概論 仏教学特論 教育文化特論I 社会福祉相談援助演習 家族関係特論 児童福祉特論 犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論)
2年次	教育心理学特論 フィールド・ワーク 研究基礎 研究指導I
3年次	言語生活特論 研究指導II

【研究テーマ】自己肯定感を高める特別支援教育

※カリキュラムは年度により変わる場合があります。

臨床心理学コース

公認心理師
(大学院科目)

臨床心理士
(第一種
指定大学院)

臨床心理学の専門的知識と援助技術に関する教育・研究を基に、

臨床心理学の高度な識見を持って心理相談に携わり、医療、教育、福祉、産業などの領域において
地域社会に貢献する心理専門職業人を養成します。

PICK UP

1

公認心理師・臨床心理士の受験資格取得カリキュラムに対応※。
心理の現場で働く専門家を養成します。

▶ 学びのステップ

1年次	心理学に関する理論と支援について学びます。	心理臨床場面に臨むための基本的態度を身につけます。	心理学における研究の基礎を学びます。
2年次	臨床心理学について深く学びます。	実習を通して実践的に心理臨床を学びます。	これまでの学びや体験を基に臨床心理学に関する修士論文を作成します。

▶ 概念図

PICK UP!

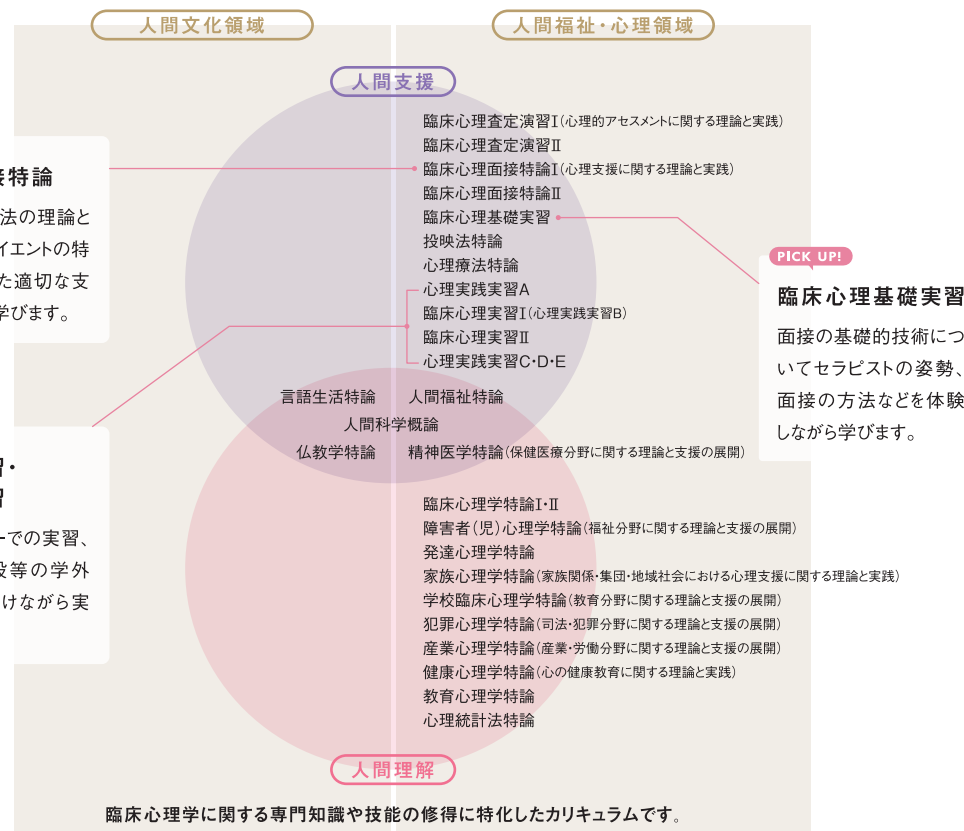
臨床心理面接特論

さまざまな心理療法の理論と方法を学び、クライアントの特性や状況に応じた適切な支援方法について学びます。

PICK UP!

心理実践実習・臨床心理実習

臨床心理センターでの実習、病院や福祉施設等の学外実習で指導を受けながら実習します。



PICK UP!

臨床心理基礎実習

面接の基礎的技術についてセラピストの姿勢、面接の方法などを体験しながら学びます。

※公認心理師受験資格取得のためには大学で公認心理師となるために必要な科目を修めて卒業し、かつ大学院で必要な科目を修めて修了する必要があります。
※令和2年3月30日付で公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会より臨床心理士養成に関する第1種指定大学院に認められました。

PICK UP

2

資格取得にとどまらず、一人ひとりの心に寄り添える
「心理専門職業人」を養成するための学びがあります。

▶ 臨床心理学コースの4つの特徴

POINT

少人数体制で、
きめ細かな教育を実施

1学年に5名の学生定員に対して7名の専任教員によるきめ細かな指導体制の下で、臨床と研究の一つひとつについて学生と教員が親和的な関係での相談助言による教育を行います。



POINT

臨床経験豊富な教員による
実践的な実習指導

心理的な支援を必要とする様々な人の心理的なアセスメントや心理的支援、また支援を必要とする人の関係者への相談や助言など心理的援助の実践的知識と技術を学内外の実習を通して指導します。



POINT

大学院修了後の
丁寧な進路相談と支援

大学院修了後の心理専門職資格試験に関わる情報提供と指導、および専門職への就職等の丁寧な進路相談、支援を行います。



POINT

大学附属実習施設「臨床心理センター」
での学内実習とスーパービジョン※1

心理的な支援を必要とする人やその関係者への心理的援助および地域の学校や自治体等と連携したコンサルテーションなど多様な相談事例について、臨床実践・事例検討・スーパービジョンなどを通して学びます。



※1 心理専門職養成におけるスーパービジョンとは、指導を受けながら相談事例を担当する者(スーパーバイザー)を臨床経験の豊かな指導者(スーパーバイザー)が個別的指導または集団で指導することです。

PICK UP

3

修了生 Voice

飯塚病院 公認心理師

実践経験をお持ちの先生方の手厚い指導で
臨床と研究の両面で学びが深まりました。

心理的支援を実践的に学びたいという思いから本学大学院に入学しました。少人数制のため、先生方の実践経験に基づいた細やかな指導を受けることができます。毎週のカンファレンスやスーパービジョン、臨床心理センターでの学びを通じて、一人で抱え込まず様々な視点で検討することの大切さを学びました。患者さんに真摯に向き合い、自己研鑽を続ける心理士を目指しています。

2023年度修了
赤木 佳恋さん
(筑紫女学園大学出身)

一般入試(1期)

履修カリキュラム

1年次	人間科学概論 仏教学特論 精神医学特論 臨床心理学特論I 臨床心理学特論II 臨床心理面接特論I 臨床心理面接特論II 障害者(児)心理学特論 発達心理学特論 家族心理学特論 学校臨床心理学特論 犯罪心理学特論	産業心理学特論 健康心理学特論 臨床心理査定演習I 臨床心理査定演習II 臨床心理基礎実習 心理統計法特論 投射法特論 心理療法特論 臨床心理実習IA 心理学研究法特論 研究指導I
2年次	臨床心理実習IB 臨床心理実習II 臨床心理実習III	臨床心理実習IV 臨床心理実習V 研究指導II

【研究テーマ】 大学生の無気力の推移とその関連要因の探索的検討

※カリキュラムは年度により変わる場合があります。

教員紹介

◆研究指導担当者



緒方 隆文 教授

担当科目

- 言語文化特論
- ★研究指導I

ことばを研究対象とした、言語研究、言語文化研究、さらには教育や他分野への応用といった研究を指導していきます。中心には、意味論、言語比較、認知言語学がありますが、それ以外であっても、ことばに関わる研究であれば対象とします。プロセスとして、テーマの決定、文献リスト作成及び収集、先行研究の理解と問題点の指摘、オリジナリティをもった代替案の提示といった流れで研究を進めていきます。

◆研究指導担当者



森田 真也 教授／博士（歴史民俗科学）

担当科目

- 日本文化特論II
- フィールド・ワーク
- ★研究指導I

日本、沖縄、東アジアの文化、及び社会に関する研究について、民俗学・文化人類学的視点からの指導を行います。研究指導においては、人々の多様な文化的営みと社会の関わり、さらにはエリア・スタディーズ、エスニック・スタディーズ、マイノリティー研究、文化研究の諸領域を包括します。大学院生には、学問的な視座と方法論を獲得しながら、オリジナルな視点からの研究を期待しています。

◆研究指導担当者



高山 百合子 教授

担当科目

- 現代言語特論
- 言語生活特論

日本語および日本語の変種（現代語、古典語、方言、標準語、敬語、若者ことば等々）を対象とする研究を指導します。適切なテーマ設定をするところからスタートし、そのテーマに沿った資料と方法を考えます。資料からデータを収集し、データを整理して考察する—これが基本です。この過程で、〈参考文献の収集と読み込み〉、〈発表（プレゼンテーション）・意見交換〉、〈修正〉を繰り返し、論文としての完成度を高めます。1年次では、このサイクルに入るところまでをめざします。

◆研究指導担当者



池田 和彦 教授

担当科目

- 社会福祉学特論 ★研究指導I
- 仏教福祉特論

日本における社会保障政策のあり方を研究テーマとして設定する方を指導します。社会保障は現代資本主義社会を維持・存続するうえで必要不可欠な制度・政策ですので、社会科学的研究方法にもとづき、資本主義社会の仕組みとの関連を意識して研究を進めることになります。

◆研究指導担当者



古賀野 卓 教授

担当科目

- 教育文化特論I
- ★研究指導I

現実に行き起きている教育問題、保育・教育に関わる理論や思想、保育・教育の方法や技術、教育制度・政策などに関心をもつ方を対象に、関心領域における問題発見と課題探求の方法を理解し、論文や資料などの探索・収集から、その批判的検討まで、文献研究の基本に習熟できることを目指します。また、理論研究を行う上での考え方も身につけます。

◆研究指導担当者



崔 淑芬 教授／博士（文学）

担当科目

- 比較文化特論
- 人間科学概論
- ★研究指導I

東アジアにおける、主に日本・中国・韓国の現実社会や文化、教育、国際関係および女性学・ジェンダー問題等様々な分野で生じている新たな課題を発見し、研究課題と問題意識に即した論文執筆計画を立てた上で、各自の研究テーマに応じた方法論、調査法、文献研究、論文執筆技術の各分野における自律的な研究者として自らの研究を展開できるよう指導を行います。

◆研究指導担当者



鴈野 恵 教授／博士（学術）

担当科目

- 異文化コミュニケーション特論
- ★研究指導I

日本語を母語としない人への日本語教育および日本語教師養成・教育に関する研究を行っています。日本語教師の資質・能力は、知識・技能・態度に三分類されますが、「態度」涵養の研修のあり方を研究しています。大学院では、現職の日本語教師の方も歓迎し、理論と実践の往還を目指したいと考えています。

◆研究指導担当者



高木 佳世子 教授

担当科目

- 人間福祉特論
- ★研究指導I

日本の社会保障、司法福祉の問題点やあり方について、主に法制度の観点から研究される方を対象に研究指導を行います。1年次は、現状と現行の法制度についての理解を確認しながら、研究テーマの明確化を行い、必要な文献・資料の収集と読み込みを行います。2年次は、さらに文献・資料の分析を進め、論文を執筆していきます。

◆研究指導担当者



一木 順 教授

担当科目

- ★研究指導I

私たちが日常的に接しているポピュラー文化（映画、マンガ、アニメ、ドラマ、音楽など）を媒介としながら、現代社会のありようについて分析的な研究を行います。大量に生産され、大量に消費される「消費文化」には、さまざまな社会的力学が働いています。アカデミックな視点からポピュラー文化を見ることで、現代社会の諸相を理解したいと思います。

◆研究指導担当者



桐島 薫子 教授／博士（文学）

担当科目

- 中国文化特論
- ★研究指導I

中国文化・漢字文化・日中比較文化を研究対象とし、①テーマ設定、②資料の調査報告と質疑応答、③論文構想の検討、④客観的論証のための考察、⑤論文の執筆と推敲、といったプロセスで進めていきます。漢字文化圏への理解を深めるための指導的役割を担える人材、社会に対して実践的なアプローチや情報発信ができる人材を養成します。

◆その他の科目担当教員

宇野 智行 教授／博士（文学）

担当科目

- 仏教学特論
- 仏教文化特論

松本 和寿 教授／博士（教育学）

担当科目

- 教育文化特論II

時里 奉明 教授

担当科目

- 日本文化特論I

◆研究指導担当者



川崎 孝明 教授／博士（アドミニストレーション）

担当科目

- 社会福祉相談援助演習
- 研究基礎 ★研究指導I

わが国の社会福祉の制度・政策（特に障害者問題や生活困窮者支援など）を研究テーマにしたい方を指導します。社会福祉を取り巻く諸問題を自分なりの視点をもって問題の背景にある社会構造に着目した研究手法を身につけていきます。研究論文の作成では、独自の視点ならびに論文作成上のルールを最低限身につけておくことが必要となるため、数多くの研究論文を分析することになります。

◆研究指導担当者



池田 久剛 教授

担当科目

- 臨床心理面接特論I（心理支援に関する理論と実践）
- 学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援）
- 心理実践実習・臨床心理実習
- ★研究指導I

児童期から成人期までを対象とした臨床心理学的視点（主に心理力動的な視点や、ヒューマンスティックな視点）からの研究を指導します。自分自身の問題意識を大切に、先行研究から、現在明らかになっている点、問題として残されている点、を整理し、研究テーマにつなげていきます。新しい研究手法が次々に生み出されている中、自分のテーマに合った研究方法を見つけ、考察につなげます。

◆研究指導担当者



柿 祐子 教授／博士（心理学）

担当科目

- 臨床心理学特論I
- 心理実践実習・臨床心理実習
- ★心理学研究法特論
- ★研究指導I

多文化社会における異文化理解について、心理学的視点から実践的手法を用いた研究指導を行います。研究領域としては、バイリンガルの言語理解、留学生の適応のプロセス、日本に住む外国の方の支援などがあります。先行研究の問題点や課題の整理、研究計画を作成し、実験や質問紙調査などの研究方法を用いて、分析、考察を行います。

◆研究指導担当者



森田 理香 准教授

担当科目

- 臨床心理面接特論II
- 臨床心理査定演習II
- 臨床心理基礎実習
- 心理実践実習・臨床心理実習
- ★研究指導I

臨床心理学的視点から子どもから大人までを対象とした研究指導を行います。方法は、条件統制的な研究、観察研究などを取り扱います。研究領域としては、障がい児・者への支援、情動、自己意識、感情理解などがあります。初年次は自分の関心領域に関する文献を読み、整理し、自分の研究テーマを見出します。2年次以降は、データの収集、分析、考察を行います。

◆研究指導担当者



大鶴 香 教授

担当科目

- 臨床心理査定演習I（心理的アセスメントに関する理論と実践）
- 臨床心理基礎実習
- 心理実践実習・臨床心理実習
- ★研究指導I

乳幼児期から青年期までの子どもや大人、その親を対象とした臨床心理学的視点からの研究を指導します。障害児、病弱児等の発達臨床的研究、発達や適応に難しさを抱える子どもの親の心理、親子への心理的支援などに関心を持って研究をしています。1年次は先行研究等の文献から問題を整理し、2年次はデータの収集や分析を行い、考察を深めていきます。

◆研究指導担当者



スレンダー・クマール 教授／博士（教育心理学・教育学）

担当科目

- 教育心理学特論
- ★研究指導I

子どもの教育の学習過程、記憶、動機付け、発達支援に関する教育と心理分野の実践研究を行っています。子どもの学習への気づき、社会的相互作用、英語の学習過程、認知発達過程、特別支援教育、国際的文化差異の比較教育、障がいのある子どもの臨床動作法訓練による心身面の援助と親子のサポート、不安、ストレス、心理リハビリテーション、統計分析、手・足の大脳半球の左右差の研究を指導します。

◆その他の科目担当教員

岩男 尚美 講師

担当科目

- 心理実践実習・臨床心理実習
- 臨床心理基礎実習
- 臨床心理学特論II

◆研究指導担当者



研究科長 酒井 均 教授

担当科目

- 障害者（児）心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）
- 心理実践実習
- ★研究指導I

発達障害児・者（LD、ADHD、ASD等）のアセスメントと支援における実践的な研究について指導を行います。また、これらの人々を支援するためのネットワーク（家庭・保育園・幼稚園・学校・地域）をどのように構築していくかの研究についての指導も行います。

◆研究指導担当者



日高 崇博 准教授／博士（臨床心理学）

担当科目

- 心理実践実習・臨床心理実習
- 臨床心理基礎実習
- 産業心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）
- ★研究指導I

これまで精神科・心療内科、労働衛生機関で心理臨床に携わってきました。心理臨床と研究は密接な関係にあると考えています。研究指導においては、興味関心のある先行研究を収集・整理し研究テーマを明確化していきます。同時に、研究倫理や研究方法を正しく理解しながら、具体的な研究計画をたて、データ収集（質的・量的）、分析、考察を丁寧に行い修士論文の完成を目指します。

◆研究指導担当者



池田 和彦 教授

担当科目

- 社会福祉学特論 ★研究指導I
- 仏教福祉特論

日本における社会保障政策のあり方を研究テーマとして設定する方を指導します。社会保障は現代資本主義社会を維持・存続するうえで必要不可欠な制度・政策ですので、社会科学的研究方法にもとづき、資本主義社会の仕組みとの関連を意識して研究を進めることになります。

◆研究指導担当者



高木 佳世子 教授

担当科目

- 人間福祉特論
- ★研究指導I

日本の社会保障、司法福祉の問題点やあり方について、主に法制度の観点から研究される方を対象に研究指導を行います。1年次は、現状と現行の法制度についての理解を確認しながら、研究テーマの明確化を行い、必要な文献・資料の収集と読み込みを行います。2年次は、さらに文献・資料の分析を進め、論文を執筆していきます。

◆研究指導担当者



川崎 孝明 教授／博士（アドミニストレーション）

担当科目

- 社会福祉相談援助演習
- 研究基礎 ★研究指導I

わが国の社会福祉の制度・政策（特に障害者問題や生活困窮者支援など）を研究テーマにしたい方を指導します。社会福祉を取り巻く諸問題を自分なりの視点をもって問題の背景にある社会構造に着目した研究手法を身につけていきます。研究論文の作成では、独自の視点ならびに論文作成上のルールを最低限身につけておくことが必要となるため、数多くの研究論文を分析することになります。

◆研究指導担当者



大西 良 准教授／博士（保健福祉学）

担当科目

- 児童福祉特論
- フィールド・ワーク ★研究指導I

児童福祉に関する領域、とりわけ子どもの貧困や児童虐待、不登校・ひきこもり、非行、社会的養護（養育）といった子どもを取り巻く社会問題をテーマに、ソーシャルワークの観点から研究指導を行います。そして、これらの問題の本質を捉えるための具体的な手法（ソーシャルワークにおける調査研究法）について指導します。

◆研究指導担当者



納戸 美佐子 准教授

担当科目

- 高齢者保健福祉特論
- ★研究指導I

高齢者福祉に関する領域、特に、認知症高齢者やその家族に対する支援について研究する方や地域で生活している高齢者の生活を支える取り組みについて研究する方を対象に研究指導を行います。研究テーマによっては、高齢者への支援の現状について理解を深めるために、施設や地域での活動に参加して頂くこともあります。

◆その他の科目担当教員

前田 佳宏 准教授／博士（学術）

担当科目

- 人間科学概論